

玖珠城攻防戦に登場する人物相関図

作成日 '15年8月12日
作成者 水方理茂

大友氏泰(7代)の家督に不満を持つ兄の貞頼が、玖珠城(切株山)で挙兵する。この戦いは、惣領家と庶子家の対立抗争が大友一族だけに留まらず、大神一族と清原一族を巻き込む争いとなる。特に、玖珠郡一帯を領有する清原一族は、同族が後醍醐天皇派(籠城側)と足利尊氏派(攻撃側)に分かれて刃を交える厳しい戦いとなった。

	後醍醐天皇派	足利尊氏派
大友氏	大友貞順 (貞宗の長男)  逃亡、その後捕えられ、自害	大友氏泰 (貞宗の五男)
大友一族	入田士寂 (貞宗の兄)  玖珠城で討死 出羽季貞 (貞宗の弟)  玖珠城で討死	志賀頼長 戸次朝直 戸次頼時
大神一族 (国人衆)	敷戸普練 賀来弁阿閩梨 沙弥道円	都甲惟世 植田寂円
清原一族 (国人衆)	小田顕成 魚返宰相房	野上顕直 綾垣政明 帆足清左衛門